

長野県建設業の上位 30 社 総売上高は 5595 億円、 2000 年度以降で最高

増収企業は 17 社、北野建設が 3 年連続でトップ

長野県建設業売上高ランキング〈2024 年度・速報〉



本件照会先

中澤 敏哉(調査担当)
帝国データバンク
長野支店
026-232-1288

発表日

2025/05/29

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2024 年度の長野県内建設業売上高ランキング集計における上位 30 社の総売上高は 5595 億 9600 万円となり、前年度を 0.3% 上回った。2022 年度から 3 年連続で増加し、調査を開始した 2000 年度以降で最高水準を更新した。翌期への繰り越し工事は豊富であり、今後も増加傾向は続くことが予想される。長野県建設業売上高トップは、2025 年 3 月期に年売上高 776 億 5800 万円を計上した北野建設(株)(長野市、東証スタンダード)で、2022 年度から 3 年連続のトップになった。売上高上位 30 社のうち、増収となった企業は 17 社、減収は 12 社。伸び率が最も大きかったのは(株)マナテック(長野市)の 30.9% 増。

※帝国データバンク長野支店では 2000 年度以降、長野県建設業売上高ランキング(上位 30 社)を作成している。

今回 2024 年度に到来した各社の決算(2024 年 4 月期~2025 年 3 月期)を対象とした売上高ランキングを集計した

※5 月 21 日現在で判明したデータに基づく、各社単体の数字

※3 月決算で株主総会が終了していない企業の数字は決算案

※売上高は百万円未満切り捨て

上位 30 社の総額は 5595 億 9600 万円、2000 年度以降で最高

2024 年度決算(2024 年 4 月期～2025 年 3 月期)を対象とした長野県建設業売上高上位 30 社の売上総額は 5595 億 9600 万円。前年度を 17 億 8200 万円、率にして 0.3%上回り、2022 年度から 3 年連続で増加した。

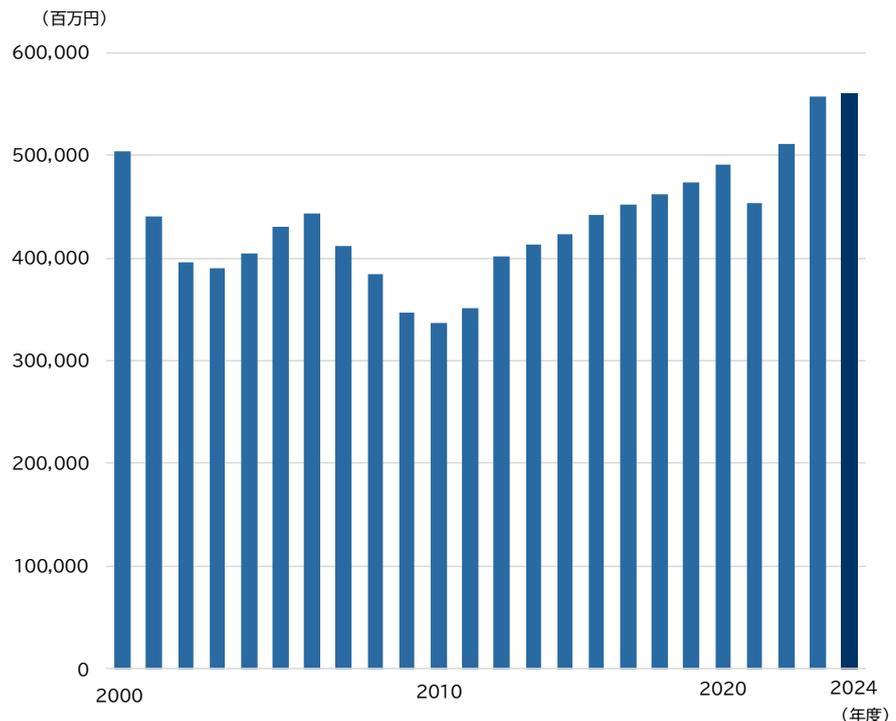
調査開始以降の推移を見ると、2000 年度の 5307 億 8400 万円から 2001～2004 年度、2008～2011 年度はそれぞれ 4 年連続で前年度を割り込み、2011 年度には 3363 億 2100 万円まで低下していた。その後は景気対策が強化され、建設市場が徐々に拡大。国土強靱化計画の推進、さらに東京五輪開催に向けた準備を含む首都圏(大都市圏)の再開発なども加わり、国内の建設需要は比較的安定的に推移した。進行基準の大手企業を除き、大半が基本的に完工時に計上される建設業者の売上高は完工物件が多いと増加し、期をまたぐ工事が多いと減少する。そのため、増減を繰り返すことは珍しくないが、2020 年以降は新型コロナウイルス感染拡大による営業機会の喪失や原材料価格の高騰や調達難から工事の先送りや工期の延長などといった形で深刻な影響が及んだ。また、東京オリンピック開催に伴う首都圏の工事中断も重なり、2021 年度は減少となった。しかし、2022 年度は一転、新型コロナウイルスの影響緩和により、資材の高騰は続いたものの、調達難は解消に向かい、人流の回復や消費増加を見込んで延期や凍結されていた設備投資が再開された。これにより大口工事の完工が増えた 2023 年度は調査開始時の 2000 年度を上回ったが、2024 年度はさらに最高売上を更新した。伸び率は 2022 年度の 12.7%、2023 年の 9.3%に比べ、2024 年度は 0.3%と鈍化したが、翌期への繰り越し工事は豊富であり、今後も増加傾向は続くことが予想される。

長野県建設業売上高上位 30 社の売上高総額推移

上位 30 社の売上高総額と伸び率

年度	売上高総額 (百万円)	伸び率 (%)
2000	530,784	-
2001	504,327	▲ 5.0
2002	440,581	▲ 12.6
2003	396,238	▲ 10.1
2004	389,424	▲ 1.7
2005	404,538	3.9
2006	430,970	6.5
2007	443,616	2.9
2008	411,910	▲ 7.1
2009	384,211	▲ 6.7
2010	346,222	▲ 9.9
2011	336,321	▲ 2.9
2012	351,557	4.5
2013	401,020	14.1
2014	413,686	3.2
2015	423,667	2.4
2016	442,555	4.5
2017	452,375	2.2
2018	461,790	2.1
2019	473,315	2.5
2020	491,530	3.8
2021	453,083	▲ 7.8
2022	510,549	12.7
2023	557,814	9.3
2024	559,596	0.3

売上高総額の推移



北野建設が売上高3年連続トップ、売上高 200 億円以上は 8 社

2024年度の県内建設業売上高1位は、北野建設(株)(長野市)。翌期へ繰り越しとなる物件が増加したことなどから、前期比5.2%の減収になったものの、2025年3月期の年売上高は776億5800万円を計上した。同社は2018年度まで19年連続してトップ、2019年度以降は3年連続2位であったが、2022年度にトップに振り返り、以降は3年連続での1位となった。2位の(株)角藤(長野市)は、翌期への繰越工事の増加から、2025年1月期は618億8700万円と前期比17.9%の減収となった。同社は、2019年度から3年連続で首位となり、2022年度から3年連続の2位となった。3位は、受注及び工事の進捗が順調だった(株)守谷商会(長野市)が16.5%伸びて2年連続の3位となった。以下、4位綿半ソリューションズ(株)(飯田市)、5位(株)ヤマウラ(駒ヶ根市)、6位ルートイン開発(株)(上田市)、7位(株)TOSYS(長野市)、8位セキスイハイム信越(株)(松本市)と続いた。前期と比べ、4位と5位、6位と7位がそれぞれ入れ替わったが、顔ぶれは変わらなかった。この8社が売上高200億円以上(前年度も8社)となった。また、順位は変動したものの、上位30社中27社は前回と同じ顔ぶれで、3社が新たにランクインした。

地区別は「北信」、

業種別は「一般土木建築工事」が、社数・売上高ともにトップ

30社を4地区別にすると、「北信」12社(構成比40.0%)、「中信」「南信」が各7社(同各23.3%)、「東信」4社(同13.3%)と、前年から「東信」が1社増え、「北信」は1社減ったものの4割を占めた。地区別売上高では、「北信」が3051億4000万円と前年から2.9%減ったものの、構成比で54.5%と過半数を占めた。次いで「南信」(1214億9100万円、同21.7%)が続いた。

また、業種(産業分類コード)別では「一般土木建築工事」が14社(構成比46.7%)と4割以上を占めた。以下、「木造建築工事」の4社(同13.3%)、「建築工事」の3社(同10.0%)、「鉄骨工事」「一般管工事」の2社(同6.7%)となった。業種別売上高は、「一般土木建築工事」が2878億2100万円(同51.4%)と過半数に達した。

長野県建設業売上高上位30社の地区別内訳

地区	社数	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)
北信	12	40.0	305,140	54.5
東信	4	13.3	55,527	9.9
中信	7	23.3	77,438	13.8
南信	7	23.3	121,491	21.7
合計	30	100.0	559,596	100.0

※小数点第3位以下を四捨五入しているため100%にならない場合がある

長野県建設業売上高上位 30 社の業種別内訳

業種	社数	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)
一般土木建築工事	14	46.7	287,821	51.4
建築工事	3	10.0	56,264	10.1
木造建築工事	4	13.3	31,522	5.6
鉄骨工事	2	6.7	70,972	12.7
一般管工事	2	6.7	21,950	3.9
その他工事	5	16.7	91,067	16.3
合計	30	100.0	559,596	100.0

※小数点第3位以下を四捨五入しているため100%にならない場合がある

増収企業 17 社、減収企業 12 社 増収企業が 14 年連続上回る

増収となったのは 17 社(構成比 56.7%)、減収は12社(同 40.0%)。増収企業は前年度(21 社)から 4 社減り、減収企業は前年度(9 社)から 3 社増えた。増収企業が減収企業を上回るのは 14 年連続である。

増収 17 社のうち、10%以上増収したのは 11 社。前年度(15 社)から 4 社減少している。伸び率が最も大きかった(株)マナテック(長野市)は、工場など前期からの大口繰越工事が多く、2024 年 9 月期は前期比 30.9%増となる年売上高 148 億 8800 万円を計上した。2 位は、前期からの繰越工事が多く完工した北信土建(株)(長野市)が前期を 21.0%上回った。3 位は、ルートイン開発(株)(上田市)で、親会社のルートインジャパン(株)(ホテル経営、東京都)が、新規ホテルの出店攻勢を加速させたことで、前期比 18.4%の増収になった。

増収・減収企業数の年度別推移

年度	増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比
2000	13	43.3	16	53.3
2001	10	33.3	20	66.7
2002	8	26.7	22	73.3
2003	5	16.7	24	80.0
2004	16	53.3	14	46.7
2005	17	56.7	13	43.3
2006	24	80.0	6	20.0
2007	18	60.0	12	40.0
2008	10	33.3	20	66.7
2009	10	33.3	20	66.7
2010	10	33.3	20	66.7
2011	17	56.7	13	43.3
2012	21	70.0	9	30.0

年度	増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比
2013	29	96.7	1	3.3
2014	17	56.7	13	43.3
2015	18	60.0	12	40.0
2016	19	63.3	11	36.7
2017	17	56.7	13	43.3
2018	17	58.6	12	41.4
2019	22	73.3	8	26.7
2020	17	56.7	13	43.3
2021	19	63.3	10	33.3
2022	21	75.0	7	25.0
2023	21	70.0	9	30.0
2024	17	56.7	12	40.0

長野県建設業売上高ランキング(2024年度・速報)上位30社

順位	前年度 順位	社 名	所 在 地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率 (%)
1	1	北野建設(株)	長野市	3	77,658	▲ 5.2
2	2	(株)角藤	長野市	1	61,887	▲ 17.9
3	3	(株)守谷商会	長野市	3	48,099	16.5
4	5	綿半ソリューションズ(株)	飯田市	3	33,531	3.1
5	4	(株)ヤマウラ	駒ヶ根市	3	32,929	▲ 1.9
6	7	ルートイン開発(株)	上田市	3	30,966	18.4
7	6	(株)TOSYS	長野市	3	29,862	10.6
8	8	セキスイハイム信越(株)	松本市	3	25,581	▲ 1.3
9	9	積水ハウス建設上信越(株)	千曲市	1	18,955	2.7
10	14	(株)マナテック	長野市	9	14,888	30.9
11	11	神稲建設(株)	飯田市	6	14,275	16.0
12	10	吉川建設(株)	飯田市	5	13,624	▲ 20.0
13	16	(株)岡谷組	岡谷市	5	12,106	12.4
14	12	ミサワホーム甲信(株)	松本市	3	11,728	1.5
15	17	(株)岩野商会	長野市	7	11,432	14.4
16	18	北信土建(株)	長野市	6	10,667	21.0
17	15	松本土建(株)	松本市	5	9,444	▲ 16.9
18	13	ワールド開発工業(株)	長野市	12	9,144	▲ 20.5
19	20	(株)青木鐵工所	長野市	4	9,085	5.4
20	22	(株)アルプスピアホーム	松本市	3	8,735	3.2
21	-	笹沢建設(株)	軽井沢町	12	8,709	前期変則決算
22	19	(株)竹花組	佐久市	6	7,975	▲ 8.7
23	21	(株)フォレストコーポレーション	伊那市	12	7,935	▲ 6.8
24	25	(株)新津組	小海町	3	7,877	5.9
25	29	(株)サンプロ	塩尻市	8	7,801	16.5
26	24	北陽建設(株)	大町市	5	7,098	▲ 5.3
27	26	木下建設(株)	飯田市	5	7,091	▲ 1.4
28	-	(株)マツハシ冷熱	長野市	3	7,062	13.8
29	23	甲信アルプスホーム(株)	松本市	3	7,051	▲ 8.6
30	-	飯島建設(株)	長野市	5	6,401	16.3

〈ランキング表注〉

※このランキングは5月21日時点で判明したデータに基づいて作成した

※株主総会が終了していない企業の売上高は決算案である

※前年度30位圏外は順位を記載していない

※笹沢建設(株)は前期が9カ月の変則決算であったことから、伸び率を算出しなかった

※伸び率は判明する最小の桁数で算出した